

『福音の光、神が輝くために！』 コリント人への手紙第二4章1～6節 2016.1.10(礼拝説教より)

『私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたち姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。』 IIコリント3:18

二千年前に救いは完成されたのに、何故相変わらず世に闇がある？聖書は『この世の神が不信者の思いをくرامせ…福音の光を輝かせないようにしている(4節)』という。サタンは、人々が、神の愛よりも、人の罪、世の悪、自分の欠けばかりを見て、福音を聞いても理解しないようにさせている。

◆パウロは、人々が「空中の権威を持つ支配者に従い…(エペソ 2:2)」、「ある人々は、惑わず霊と悪霊の教えに心奪われ、信仰から離れた(IIテモテ 4:1)」と語る。イエス様も「悪よりお救いください(マタイ 6:13)」と祈れと教えたが、その悪霊に対する裁きと勝利を宣言された(ヨハネ 12:31、14:30、16:11)！なので、主を信じる全ての信仰者は、『…邪悪な世にあって傷のない神の子どもとなり、命の言葉をしっかりと握り、彼らの間で世の光として輝き…自分の努力したことも、苦勞したこともむだでなかったと、キリストの日に誇ることができる(ピリピ2:15～16)』という！

◆日光東照宮の「見ざる、聞かざる、言わざる」にかけて、罪人は、神の愛が見えず！御声が聞こえず！祈れない！三重の闇に生きていると言う。しかし①聖書の預言が全て実現してきた人類の歴史や、激しい苦難の中でも神の愛を信じ、喜び、讚美した数多くの証人を見、②また、「言葉が肉体をとって私たちの間に住まわれた(ヨハネ 1:14)」イエスを通し、聖書により神の言葉に耳を傾け、③本気で、心からの祈りの声を上げる時、私たちは神の愛に心を照らされ、悪から抜け出すことができる！◆聖書は「油断することなくあなたの心を守れ(箴言 4:23)」と警告！心は行動(言葉、表情、態度…人生)を支配する。その心を守るのは聖霊様の働き。信仰の目をあげて復活の主を仰ぎ、日々聖書を読んで御声を聴き、心から救いを求めて応答する(祈る)時、あなたは輝いて、堂々と、自分らしく生きてゆく！そのあなたを通して恵みが多くの人々に及び、感謝が満ち溢れ、神の栄光が現される！